



レスポンシブル・ケア



住友化学

# 環境・安全レポート

三沢工場のレスポンシブル・ケア活動



## 環境・安全レポート

三沢工場のレスポンシブル・ケア活動

発行日: 2016年9月  
編集・発行: 住友化学株式会社 三沢工場  
〒033-0022 青森県三沢市大字三沢字淋代平  
<http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

ご意見・お問い合わせがありましたら下記までご連絡ください。

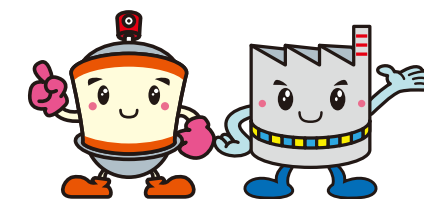
三沢工場 総務部(総務チーム)  
TEL0176-54-2111 FAX0176-54-2163



ISO 9001  
ISO 14001

JQA-0752

JQA-EM0355



# カガク チカラ 豊かな暮らしを支える「化学の力」

**住友化学(株)三沢工場はレスポンシブル・ケア活動を推進し、  
健康で豊かな暮らしを応援しています。**

私たちの豊かな暮らしの中に化学製品は必要不可欠な存在になっています。

住友化学(株)三沢工場で生産される製品は家庭用殺虫剤、衣料用防虫剤、人・動物用害虫駆除剤等の、人の住環境に欠かせない化学製品の生産に利用されます。

しかし、このような化学製品を製造する企業には、その取り扱いや処理に対し、とても厳しい責任が課せられています。それは、管理が適切でないと人体に害を与えたり、自然破壊や環境汚染につながる恐れがあるからです。

そのため、私たちは製品の研究開発から、製造、流通、使用、そして廃棄に至るまでの全ライフサイクルにおいて「安全、環境、品質」を守るための対策、レスポンシブル・ケア活動を強く推し進めています。

今も、これからも、地域の皆様、お取引先の皆様はじめ、国内外の全てのステークホルダーの皆様引き続き厚いご信頼をいただけるよう、日々新たな気持ちで製品づくりに励んで参ります。

## 〈目次〉 CONTENTS

住友の事業精神	3
経営理念	3
工場長ごあいさつ	4
住友化学の原点(CSR)	4
三沢工場の概要	5
レスポンシブル・ケア活動	7
環境保全活動〈水質編〉	9
環境保全活動〈大気編〉	11
環境保全活動〈廃棄物編〉	13
省エネルギー・CO <sub>2</sub> 排出量削減	15
化学品安全管理	17
労働安全衛生	19
保安防災	21
品質保証	23
地域社会とともに	24
国内拠点・アクセス	25

# 「信用と責任」をテーマとして

## 住友の事業精神

### 営業の要旨

- 第1条 わが住友の営業は信用を重んじ確実を旨とし、もってその鞏固隆盛を期すべし。
- 第2条 わが住友の営業は時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廢することあるべしといえども、いやしくも浮利にはしり輕進すべからず。

### 「自利利他 公私一如」

「信用を重んじ確実を旨とし」とは、取引先の信頼、社会の信頼に応えることを最も大切にすることであり、「浮利にはしり輕進すべからず」とは、目の利益のみにとらわれることのないよう、という強い戒めです。

また、成文化はされていませんが、「自利利他 公私一如(じりりた こうしいちによ)」という言葉もあります。住友の事業は、住友自身を利するとともに、社会を利するものでなければならない、とする考え方を表すもので、「公益との調和」を強く求める言葉です。こうした精神は、住友化学を含む住友グループ各社において、現在も受け継がれています。

### 経営理念

住友化学は、

1. 技術を基盤とした新しい価値の創造に常に挑戦します。
2. 事業活動を通じて人類社会の発展に貢献します。
3. 活力にあふれ社会から信頼される企業風土を醸成します。

住友の事業精神を踏まえ、住友化学としての基本精神や使命、価値観を整理し、「経営理念」として、明文化したものです。



住友化学株式会社  
三沢工場長  
瀧 敏 晃

## ごあいさつ

住友化学三沢工場は1978年(昭和53年)の操業開始以来、家庭防除用殺虫剤、農薬及び医薬用原体の世界への供給工場としての役割を担って参りました。皆様方には30年以上の長きにわたり一方ならぬご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、今日の私たちは世界規模で深刻化する地球温暖化をはじめとする環境問題や資源・エネルギー・食糧確保の問題など、数多くの克服すべき課題を抱えております。これらの問題を解決するために「化学の力」が果たすべき役割と期待は一層大きくなっております。

住友化学では長年培ってきた技術力を生かし、高機能・高品質で信頼性の高い製品を、環境に優しい形で供給することにより、世界的な諸課題の解決に

取り組むと共に、人々の豊かで快適な暮らしの実現に貢献して参りました。

今後も、グローバルな事業展開を通じて、地域社会や行政、幅広いステークホルダーの皆様とも連携しながら、レスポンシブル・ケア(RC)活動を推進していくとともに、社会の持続可能な発展に寄与する「サステイナブル・ケミストリー」※1の実現を使命と考え、事業活動を推進いたします。

三沢工場では「安全を全てに優先させる」との基本理念のもと、無事故・無災害による安定操業と環境に配慮した工場運営の継続を目標とし、皆様により安心・信頼を得られる製品を安定的に供給して参ります。

本レポートは当工場の生産活動を環境や社会とのつながりの視点に立ち、事業活動に関わる様々なステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えするために作成したものです。

最近の三沢工場のRC活動の取り組みや実績をご報告しておりますので、是非ともご一読いただき、私たちの活動にご理解を深めていただきますとともに、皆様の率直なご意見・ご要望をお寄せ頂ければ幸いです。今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※1「サステイナブル・ケミストリー」:化学の力を通じて、人々の生活に有用なものを環境や社会に、より望ましい形で継続して提供していくという考え方。

## レスポンシブル・ケア(RC)

レスポンシブル・ケア(RC)とは、化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至る全ての過程において、安全・環境・健康を確保するとともに高い品質の維持・向上を図り、対話を通じて社会からの信頼を深めていく、事業者による自主的な活動です。

住友化学は、「安全をすべてに優先させる」の基本理念の下、「労働安全衛生」「保安防災」「環境保全・気候変動対応」「化学品安全」「製品責任」の5つの分野でRC活動に取り組んでいます。

## 住友化学の原点(CSR)

corporate social responsibility、略称:CSR

### 【当社の企業としての社会的責任】

住友化学の事業は1913年、四国の別子銅山における銅の製錬の際に生じる亜硫酸ガスによる煙害問題の解決に取り組んだことに始まります。亜硫酸ガスを使って硫酸と肥料(過燐酸石灰)を生産したことが当社の事業の発祥です。汚染物質の排出量を削減することで環境問題を緩和しただけでなく、有用な肥料を供給することで農産物の収穫量の増加にも貢献しました。

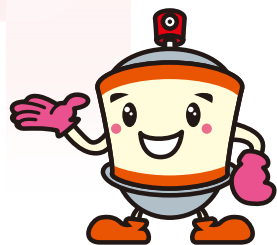
それ以来、当社は事業を通じて「豊かな暮らしづくり」を目指すとともに、環境問題に配慮しながら継続して社会貢献を行っています。このような取り組みが、当社の企業としての社会的責任(CSR)の基本となっています。CSRは、健全な事業運営に必要な社会からの信頼と支援を育むことに貢献します。



# 三沢工場の概要



広い工場スペースに施設がいっぱいです。空から見た施設をイラストでわかりやすくご案内いたします。



敷地の広さは、東京ドーム約17個分あります。



## 【三沢工場の主な製品】

屋内・屋外で使用する「家庭用殺虫剤」、「虫除け樹脂製剤」等に用いられるピレスロイド系薬剤、衣料防虫剤用薬剤、シロアリ用薬剤、動物薬用原料などを製造しています。三沢工場で生産した製品は、各製剤メーカーにおいて商品化され、皆様のご家庭で幅広く使われています。

### 家庭用殺虫剤

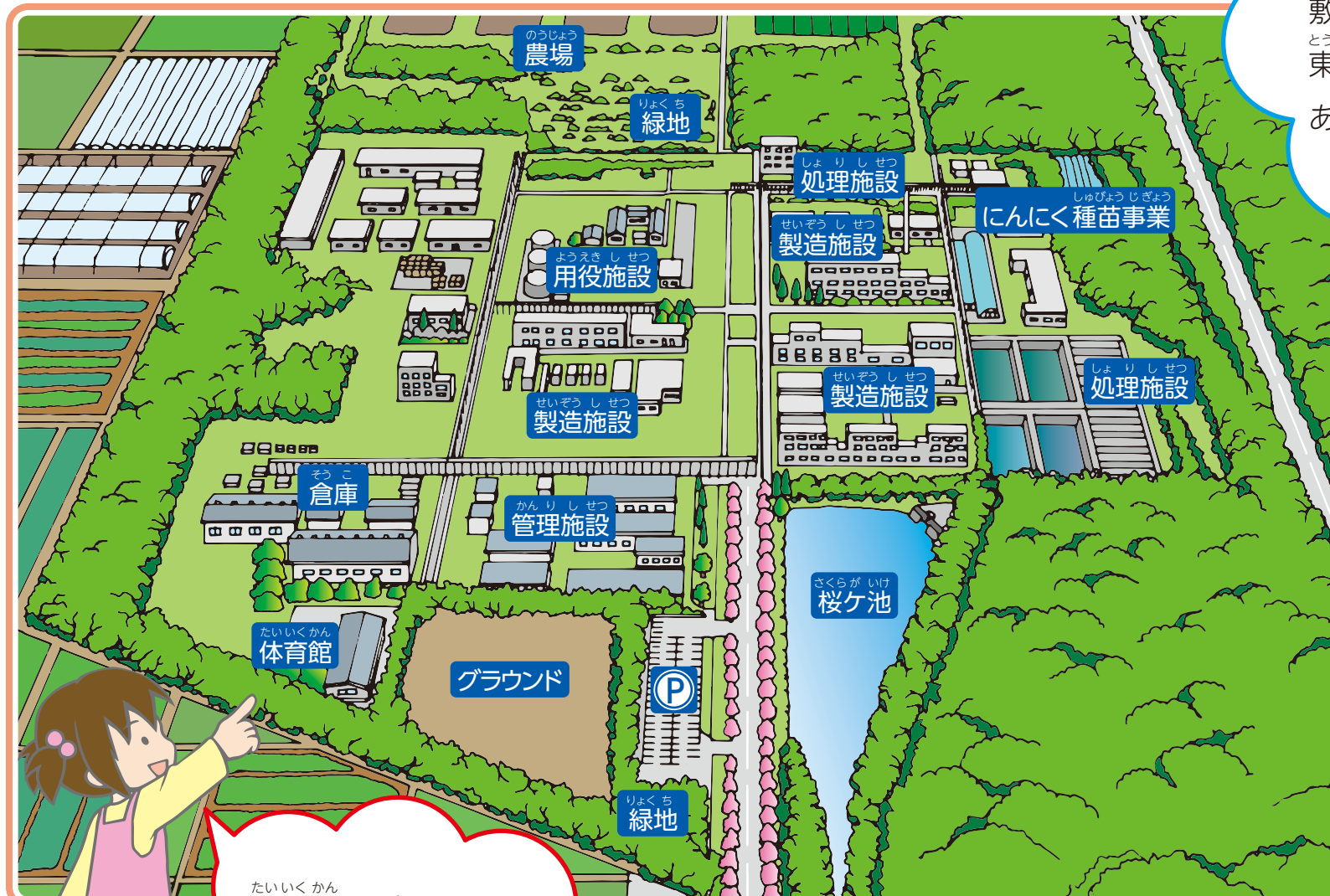
- 蚊取り線香
- エアゾール
- 蚊取り器 (リキッド、マット・ファン式)

### 衣料用防虫剤

- 押入れ・クローゼット用

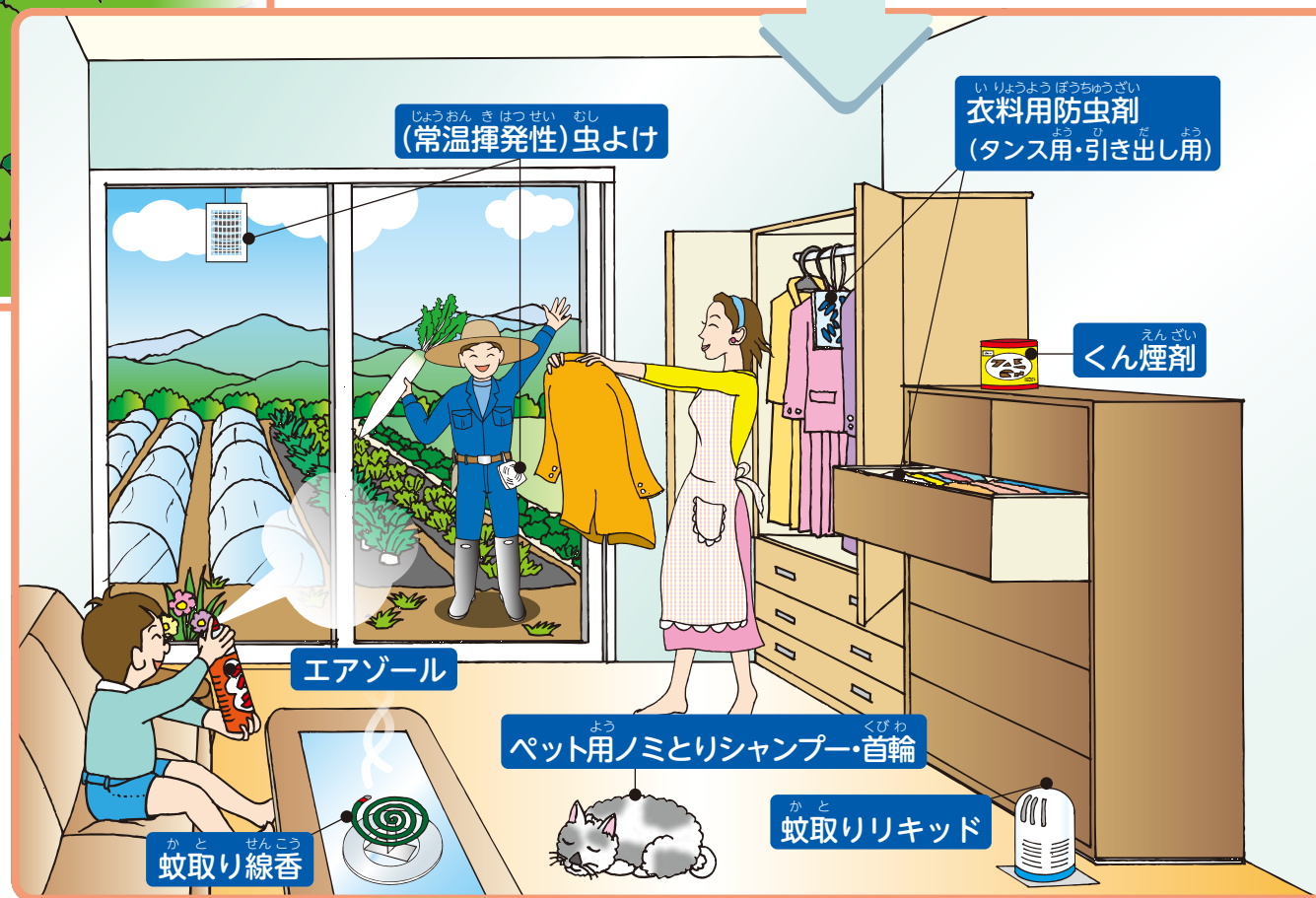
### 人・動物用害虫駆除剤

- ダニ・ノミ駆除剤



たいいくかん 体育館やグラウンド、おお 大きな池もあるよ!

用役(ようえき)施設とは・・・ものづくりに欠かせないエネルギー(電気・蒸気)と水を工場内に行き渡らせる役目を持っています。



三沢工場の概要

R C

環境保全活動

化学品安全管理

労働安全衛生

保安防災

品質保証

地域社会とともに

国内拠点/マカサ

三沢工場の概要

R C

環境保全活動

化学品安全管理

労働安全衛生

保安防災

品質保証

地域社会とともに

国内拠点/マカサ





# レスポンシブル・ケア活動



より良い製品づくりのために、私たちの使命として積極的に取り組んでいます。

私たちは、一人ひとりが「安全・環境・品質」を守るという高い使命感を持ち、「安全をすべてに優先させる」の基本理念のもと、レスポンシブル・ケア(RC)※活動を推進しています。

人に安全で環境にやさしく、より良い品質の製品を安定的に供給し、地域の皆さまから安心・信頼していただけるように、また工場で働くすべての人々が快適に働けるように、鋭意努めて参ります。

## 【三沢工場のレスポンシブル・ケア活動概要】

三沢工場では「環境保全」「保安防災」「労働安全衛生」「化学品安全」および「品質保証」の分野ごとに目標を設定してレスポンシブル・ケア活動に取り組んでいます。

### 環境保全

製品の開発から廃棄までの全ライフサイクルにわたり、環境負荷を低減し、環境保全に努めています。

エネルギー・資源の一層の効率的利用と、排ガス(温室効果ガスを含む)、排水、廃棄物といった環境中に排出される一連の環境負荷物質の発生量低減を目指し、運転方法の改善、設備・機器効率の改善、さらにはプロセスの合理化などに取り組んでいます。

### 労働安全衛生

「安全をすべてに優先させる」を基本理念とし、あらゆる面から労働災害ゼロを目指します。

工場で働くすべての人の安全と健康を守るために、安心して働ける職場環境と安全で快適な工場づくりを進めると共に、一人ひとりの安全意識を高める「安全文化の深化」に努めています。

### 保安防災

プラントでの保安事故を未然防止すると共に自然災害等からプラントを守り安全を確保します。

地域社会と工場で働く人たちの安全を確保するため、プロセス安全やリスク評価を行い、安全対策や保安防災体制の充実など、総合的な「保安力」の強化に取り組んでいます。

### 化学品安全

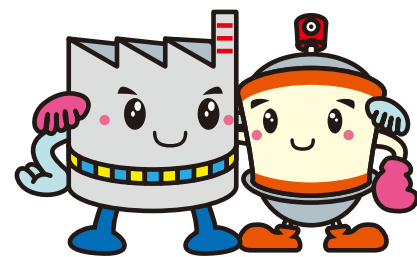
原料から製品までの化学品の性状と取扱方法を明確にし、お客様も含めた全ての取扱者の安全と健康を守ります。又、輸送時の事故未然防止に努めます。

科学的な根拠に基づく化学物質の管理を推進し、リスクの概念に基づく化学品の適切な管理に積極的に取り組んでいます。

### 品質保証

お客様が満足し、かつ安心して使用できる品質の製品とサービスを提供いたします

「製造物責任」の考え方に基づいて多面的なリスク評価を実施し、対策を講じることで、安全性の高い製品の開発・製造に努めています。



## ◆レスポンシブル・ケア(RC)

化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至るすべての過程において、安全・環境・健康を確保するとともに高い品質の維持・向上を図り、対話を通じて社会からの信頼を深めていく、事業者による自主的な活動です。

## 【三沢工場のマネジメントシステム】

環境マネジメントシステム (ISO14001)	環境に関するマネジメントシステムの要求事項を規定した国際規格。
品質マネジメントシステム (ISO9001)	品質に関するマネジメントシステムの要求事項を規定した国際規格。

三沢工場では、レスポンシブル・ケア活動の実施項目のひとつである「環境保全」を推進するためのツールとして環境マネジメントシステム(ISO14001)を、お客様に安定した品質の製品とサービスをお届けするためのツールとして品質マネジメントシステム(ISO9001)を取り入れ、PDCAサイクル※を回しながら、環境保全および品質保証体制の継続的改善を図っています。

※PDCAサイクル/計画(Plan)を立て、実行(Do)し、そのプロセスおよび結果の評価(Check)をもとに、改善(Action)を行い、次の計画(Plan)に生かしていくプロセス。

<b>認証取得</b> ◆ISO9001/1994年 ◆ISO14001/1999年	<b>トピックス</b> ◆2011年11月 複合審査に移行 (ISO9001とISO14001の同時審査) ◆2015年12月 統合マネジメントプログラム プレミアムステージの評価基準クリア ◆2016年4月 ISO規格2015年版での運用開始
--	--

### 三沢工場 環境・品質方針

私たちは、世界の食糧、健康・衛生、環境問題の解決に貢献するため、家庭用・防疫用殺虫剤、農業の原体、及び医薬用原体の供給工場としての役割と責任を自覚し、お客様の信頼と満足を得られる製品を安定的にお届けします。

- 「無事故無災害」、「顧客重視」、「地域社会との共存共栄」という経営の基本理念に則り、事業活動に伴う環境への影響を認識し、その評価と低減を行い、環境保護に努めます。
- 環境、及び品質に関する法令・条例・協定等を順守するとともに、レスポンシブル・ケアの精神に則って、自主的なリスク管理を行い、環境の汚染予防に努めるとともに、顧客の信頼と満足を得られる製品を供給します。
- 全てのステークホルダーにとっての満足は何かを常に考え、環境・品質に関する目標・計画を設定し、かつ定期的に見直し、改善を図るとともに、社内外の監査により、マネジメントシステムの継続的な維持向上に努めます。
- 工程の改善、及び操業の安定化等により、環境負荷の低減に努め、すべての部門において省資源、省エネルギー、及び廃棄物の削減を進めます。
- 地域に十分配慮した工場運営を行うとともに、関係諸官庁、及び地域住民とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献します。
- 環境・品質に関する教育・工場内広報活動を実施し、一人ひとりが環境・品質方針について理解を深め、意識の向上を図り、目標を共有するとともに、活動を強化するために、工場内で共に働く関係会社、及び協力会社にも、環境・品質方針を周知します。

この方針は、社内外に公表します。

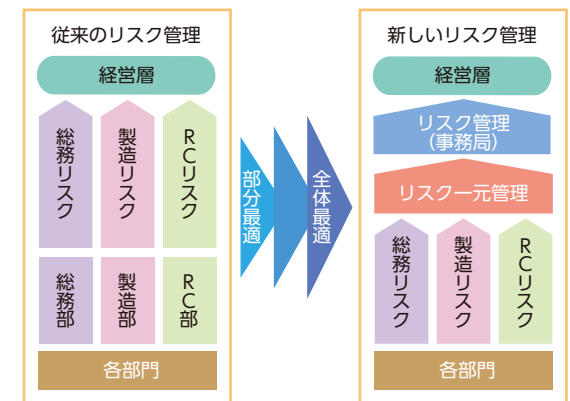
2016年09月01日  
住友化学株式会社  
三沢工場長

## 【リスク管理への転換】

三沢工場では、リスク・クライシスマネジメント委員会を設置し、リスクへの意識浸透、リスクの早期発見と顕在化の未然防止を目的に、毎年リスクの抽出・評価を行い、そのリスク顕在化防止に向けた対策を講じることにより、包括的にリスクの低減を図っています。

このリスク・クライシスマネジメントにおけるリスクをさらに具体化するツールとして、「リスクベース監査」を取り入れ、2012年8月から運用を開始しました。「リスクベース監査」とは、経営理念の実現や工場を運営するうえで障害となる課題や問題点が抜けなくリスクとして捉えられているか、またリスクの大きさに応じた軽減のためのコントロール策・体制が適切かどうかを監査する手法です。

今後もこの「リスクベース監査」の浸透およびリスクの見極め・対処力の向上を図りながら、三沢工場の包括的なリスク管理体制を維持していきます。



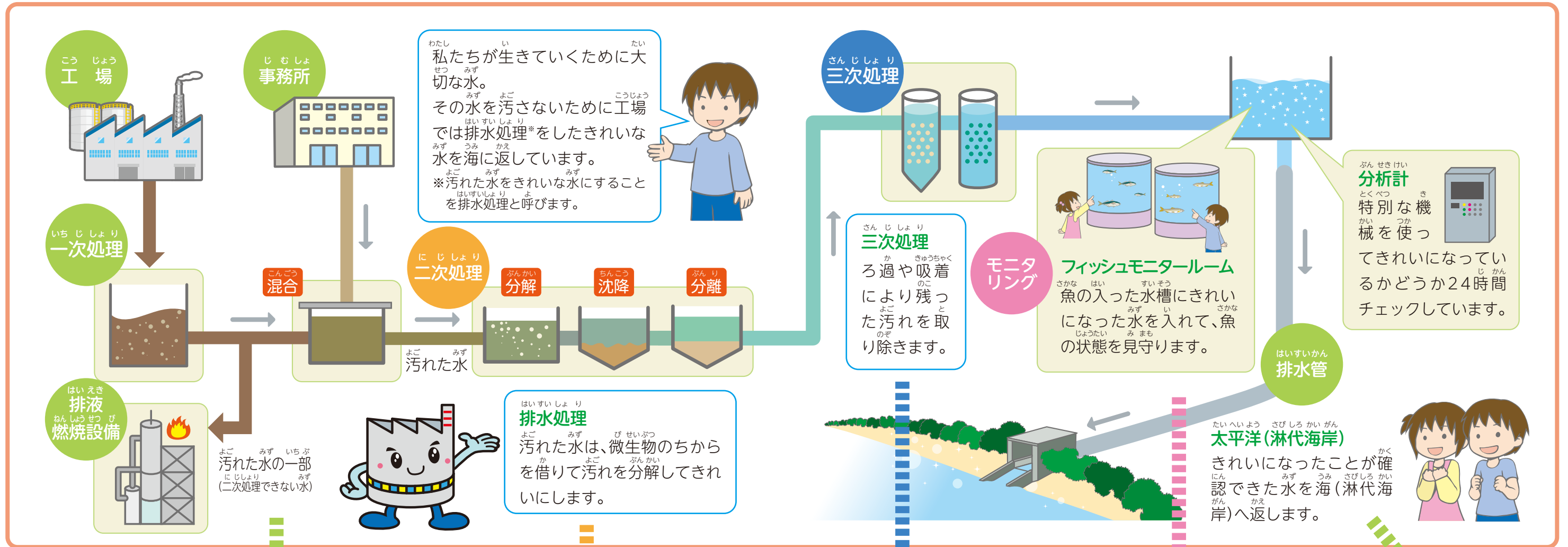
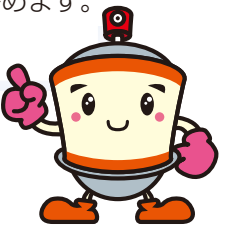
# 環境保全活動 〈水質編〉



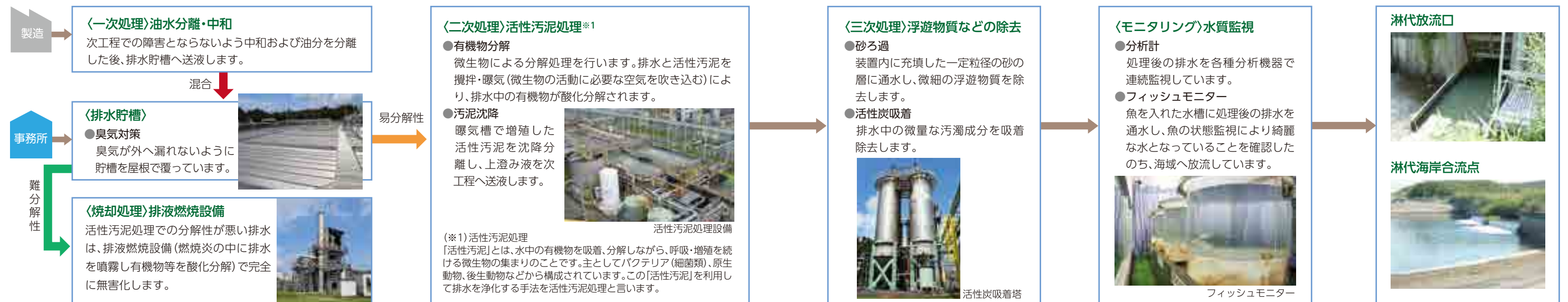
工場で利用された水は排水処理施設で完全に浄化されたあと、自然に戻しています。

全社数値目標 水を貴重かつ重要な資源と位置づけ、その効果的かつ効率的な利用の促進に努めます。

三沢工場で使用している水は、地下水、温泉水を汲み上げて様々な用途に利用しています。工場内で使用した後の水(排水)は以下に示す排水処理工程にて汚れを分解・浄化したのち、自然(海)にかえしています。製造工程から発生する排水は二次処理(微生物分解)での処理性に依りて処理系統を分けて処理しています。(下図参照)



## 【排水処理のしくみ】





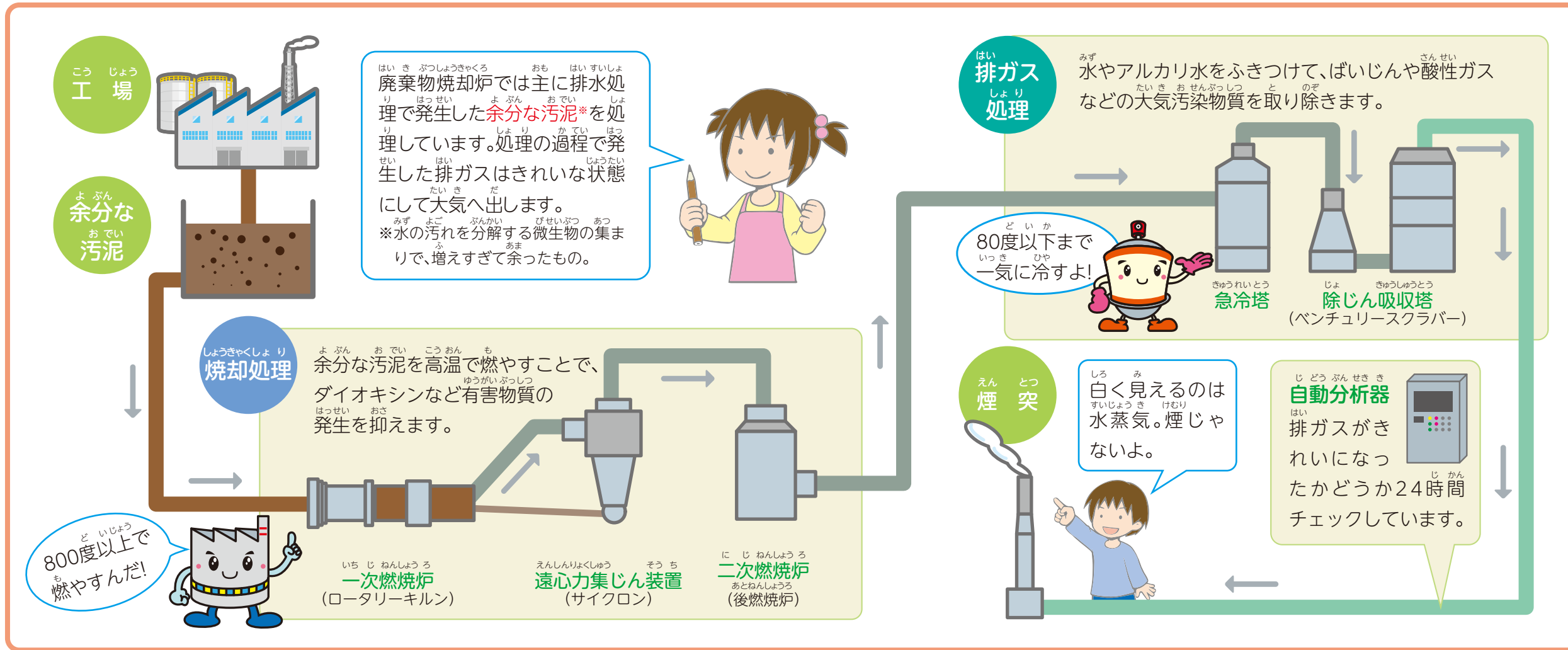
# 環境保全活動 〈大気編〉



大気を汚染しないように焼却処理の排ガスは、有害物質を取り除きます。  
工場の煙突からは水蒸気(湯気)が出ています。

全社数値目標 自主管理基準値以下の維持・継続に努めます。

住友化学の各工場では、大気汚染防止法の排出基準よりも厳しい基準(協定基準)を自治体(県・市)と締結しています。工場ではこれら基準を遵守するためにさらに厳しい自主管理基準値を設定し、環境負荷の一層の低減に努めています。  
大気環境負荷および水域環境負荷の削減など各面での積極的な対策を推進し、環境パフォーマンスの継続的な改善に向けて取り組んでいます。



## 〔燃焼設備(ばい煙施設)〕

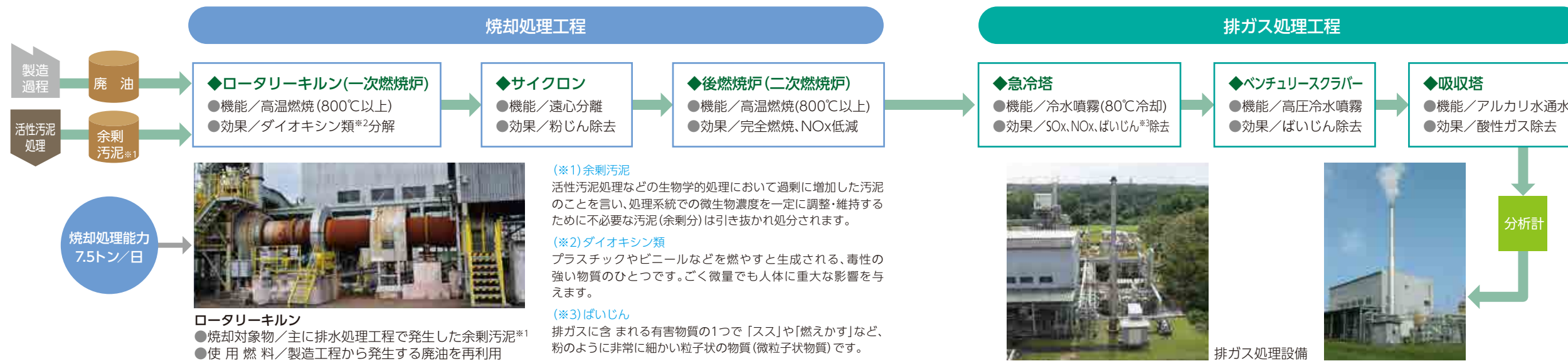


貫流ボイラー  
●役割/蒸気製造



ガスタービン・コージェネレーションシステム  
●役割/自家発電、蒸気製造

## 〔廃棄物焼却炉における排ガス処理のしくみ〕



二六十年の歴史

R C

環境保全活動

化学品安全管理

労働安全衛生

保安防災

品質保証

地域社会とともに

国内拠点・プラント

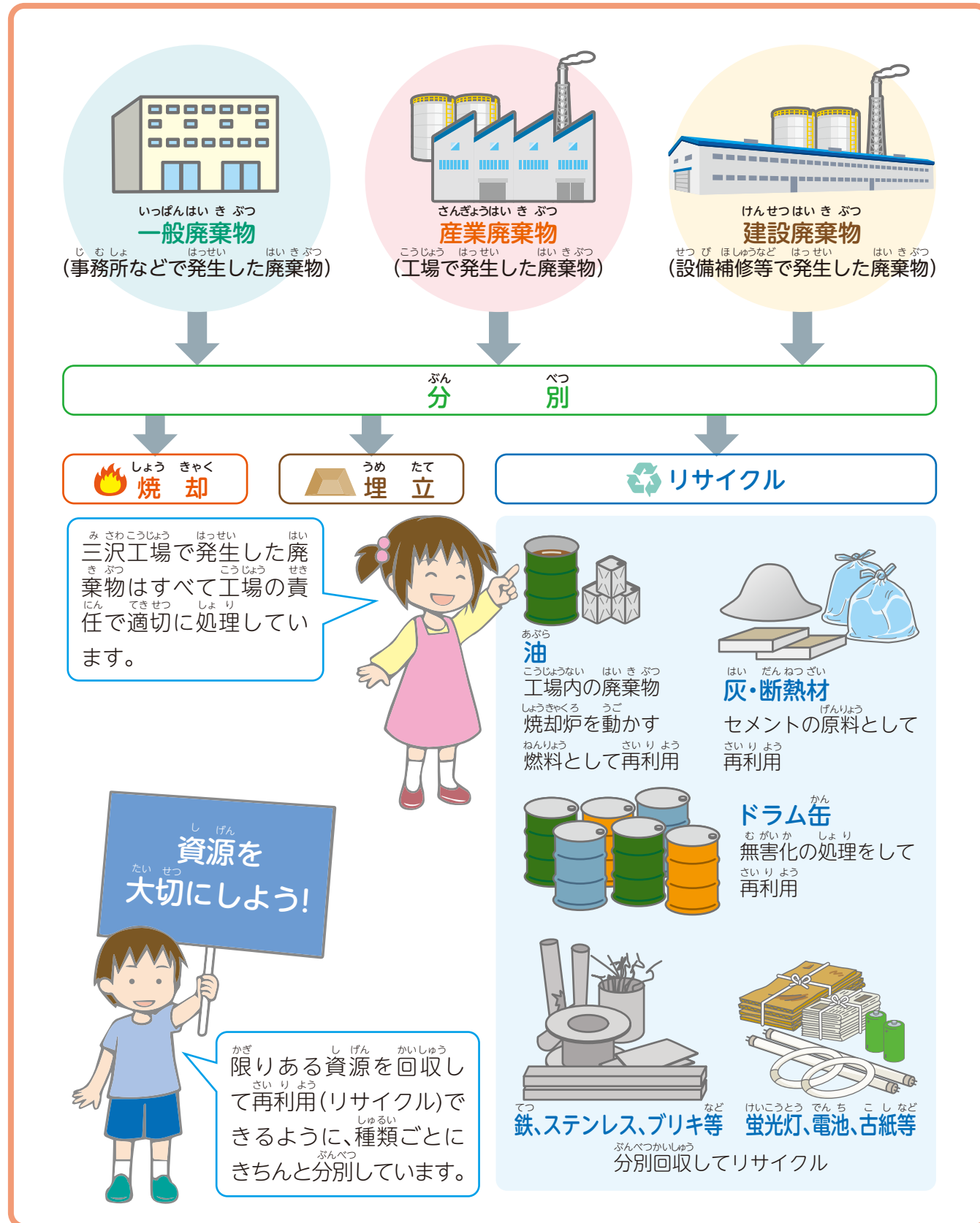
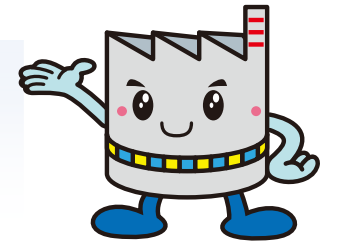
# 環境保全活動 〈廃棄物編〉



分別徹底によるリサイクルを推進し、  
廃棄物発生抑制と埋立量削減に努めています。

全社数値目標 産業廃棄物の埋立量を2000年度比80%削減を維持する

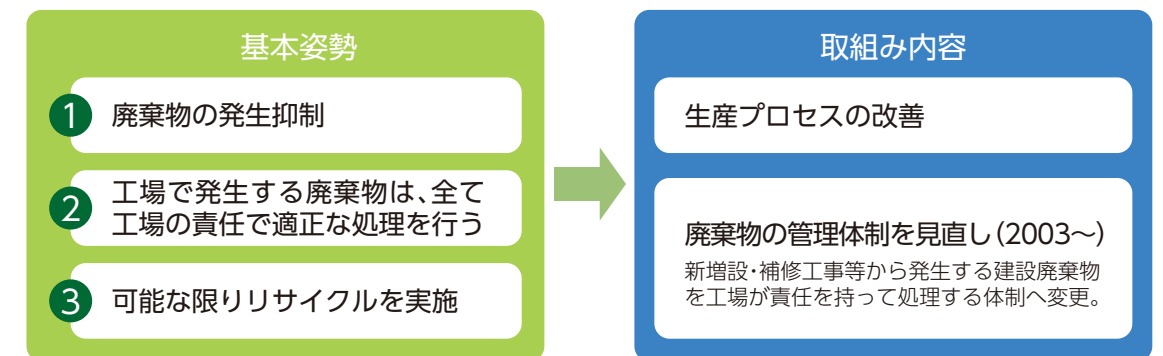
住友化学は、廃棄物の発生量抑制とその再使用(リユース)および再利用(リサイクル)の推進に向けて数値目標を掲げ、その確実な達成に努めています。



三沢工場では、循環型社会の実現に向けて3R (リデュース、リサイクル、リユース) を推進し、廃棄物の削減に取り組んでいます。

工場から発生する廃棄物はすべて工場の責任で処理することを基本とし、新增設・補修工事などで発生する建設廃棄物についても三沢工場の廃棄物として責任を持って処理する体制へと移行し、分別徹底によるリサイクルの推進を継続しています。

〈産業廃棄物の管理とリサイクル推進〉

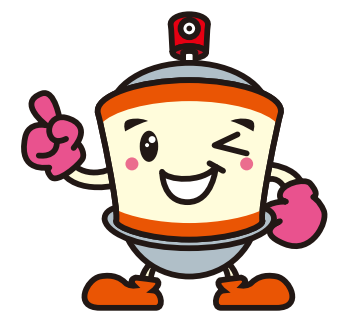
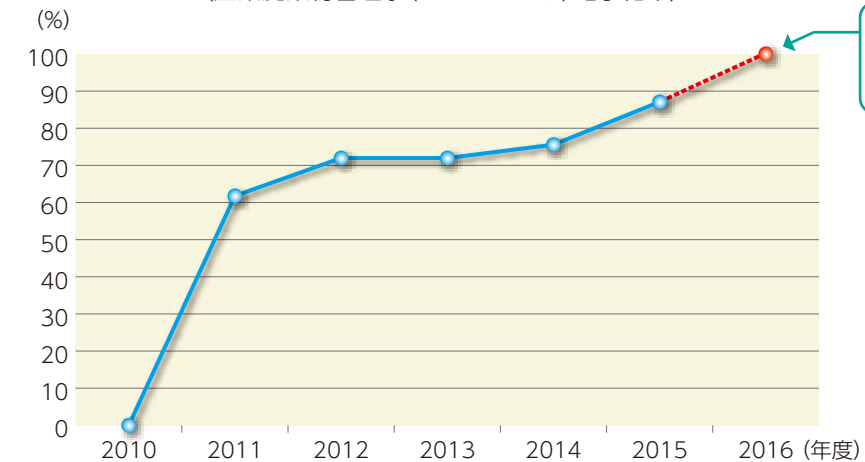


## 〔産業廃棄物管理票(マニフェスト)の電子化推進〕

事業者が産業廃棄物を外部に委託する場合、産業廃棄物管理票(紙マニフェスト)または電子情報を活用する「電子マニフェスト」の使用が法律で義務付けられています。

当社はマニフェストに関する事務効率化、コンプライアンス徹底、さらにはデータの透明性といった観点から、各事業所においてマニフェストの電子化を推進しています。

〈産業廃棄物管理票(マニフェスト)電子化率〉





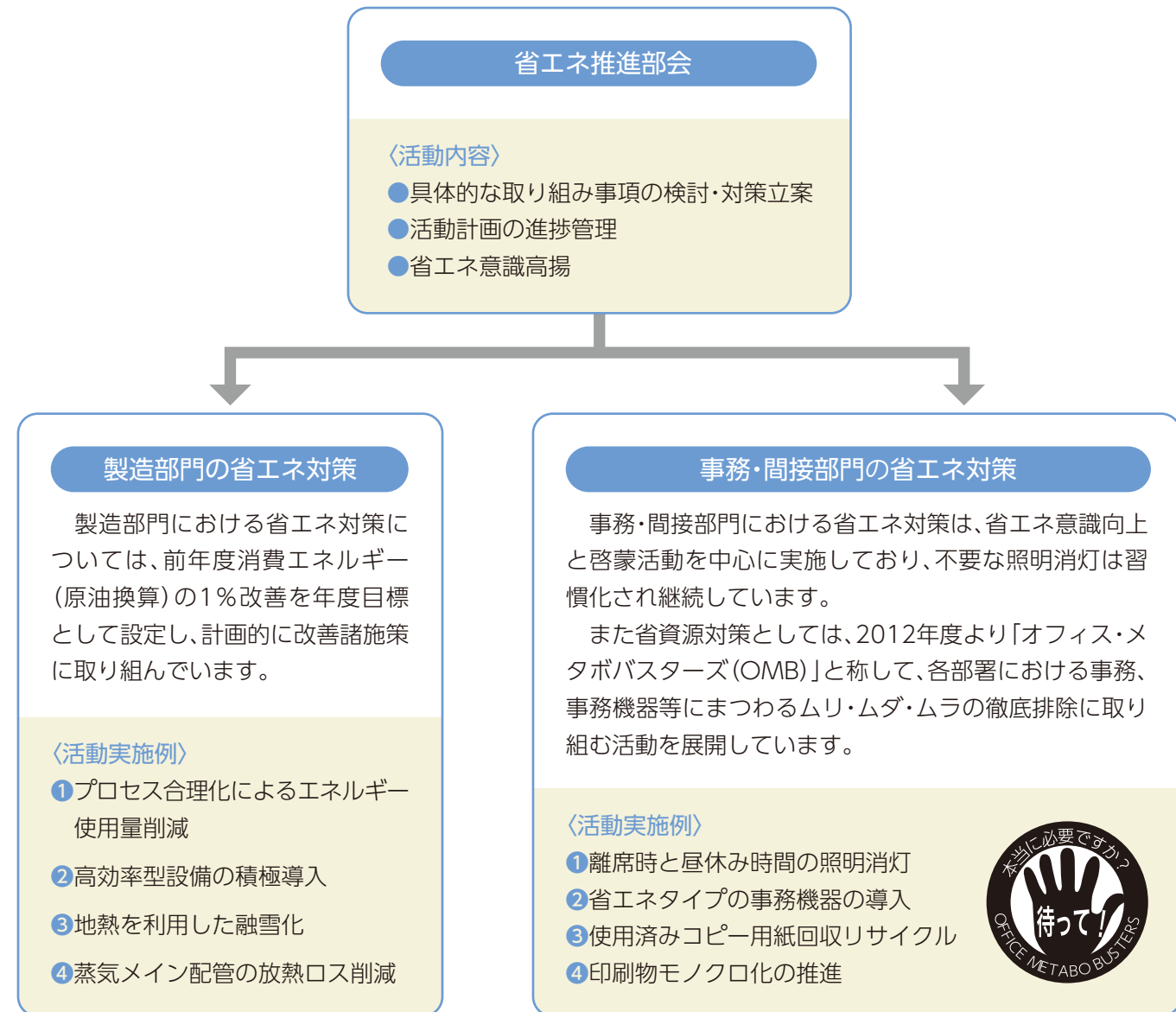
# 省エネルギー・CO<sub>2</sub>排出量削減



省エネルギー・CO<sub>2</sub>排出削減について全工場上げて目標数値を掲げ、諸施策に取り組んでいます。

## 【省エネルギー推進体制】

三沢工場では、省エネ推進部会を事務局として全社目標を達成するために電気や燃料の使用量削減を積極的に推進することにより、低炭素化、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)の排出量抑制に努めています。また、省エネ・省資源の取り組みは、製造部門に限らず、事務・間接部門においても取り組んでいます。



全社数値目標 ▶ 省エネルギー／エネルギー消費原単位を2020年度までに15%改善(対2005年度比)

全社数値目標 ▶ CO<sub>2</sub>排出／エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出原単位を2020年度までに15%改善(対2005年度比)

住友化学は低炭素社会および循環型社会の早期実現に向けて、一層の省エネルギーおよびCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出削減に向けて数値目標を掲げ、その確実な達成に努めています。また、CO<sub>2</sub>排出量などは発生源別に正確に把握することで、改善点を明確にするとともに全般的な管理向上につなげています。

## 【気候変動問題への対応】

気候変動問題は、グローバル社会の持続的な発展に向けて取り組んでいかなければならない、喫緊の重要課題の1つです。住友化学はレスポンシブル・ケア中期計画に定めた重点課題について、本社(気候変動対応)と各事業部門、各工場および研究所が一体となって取り組んでいます。

三沢工場においては、エネルギー消費量削減のために、製造設備における製法合理化、設備・機器効率の改善などを推進しました。また環境用役設備においては、冷凍機のインバーター制御運転での電力削減等を実現しました。

低炭素化に向けた取り組みは、生産活動や研究の場だけでなく、さまざまな切り口で取り組みを進めており、今後も目標としているエネルギー消費原単位1%以上の改善を目指してまいります。

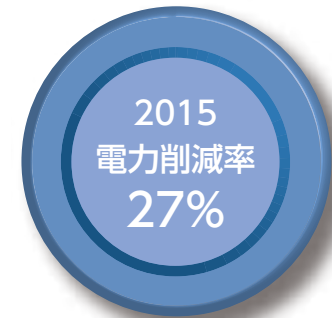
(エネルギー消費量・同原単位およびエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量については、別冊DATABOOKをご参照ください。)

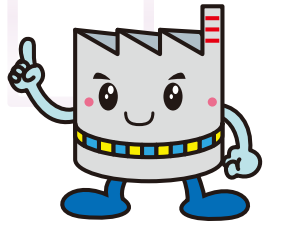
### 駐車スペース融雪化



地中熱エネルギーを取り出し融雪を行なう「**地中熱ヒートパイプ融雪システム**」を導入しました。

### チラー冷凍機更新による電力削減





# 化学品安全管理



科学的な根拠に基づく化学物質の管理を推進し、リスクの概念に基づく化学品の適切な管理に積極的に取り組んでいます。

## 【化学物質の大気中濃度の把握(自主管理測定)】

三沢工場では、大気汚染防止法に基づく「有害大気汚染物質に該当する可能性のある物質」、PRTR法「第1種指定化学物質」および日本化学工業協会PRTR対象物質の中から、『工場で使用している物質で長期曝露により人の健康を損なう恐れのある物質』\*を対象に調査しています。

工場の排出実態を正しく把握し今後の管理に役立てるため、自主的に測定しています。

\*トルエン、キシレン、エチルベンゼン、メチルイソブチルケトン、メタノール、ピリジン、トリエチルアミン、アセトン、酢酸エチル、モルホリン、ヘキサン=11物質

## 【検査、研究部門での化学物質(薬品)の管理】

工場生産した製品の検査部門や製造プロセスの合理化等を行う研究部門では、多くの薬品を取り扱っています。取り扱う薬品は、全てリスト化し、使用量や在庫量などの管理を行うとともに、地震に対する安全対策として薬品保管棚の固定や棚内での転倒・接触による破損防止対策を行っています。

また、薬品等の取り扱いにおいては、局所排気装置(ドラフト)内での作業を徹底し、作業者の健康保護に努めるとともに、局所排気装置(ドラフト)からの排気は除害設備等で処理した後、大気に排出しています。



薬品保管棚



循環無害化装置(カブトエア)



局所排気装置(ドラフト)

### 「エコ・ファーストの約束」

住友化学は環境省の「エコ・ファースト制度」に参画しています。環境大臣と約束したエコ・ファーストの約束の達成を目指しています。

#### 1 化学物質管理とリスクコミュニケーション

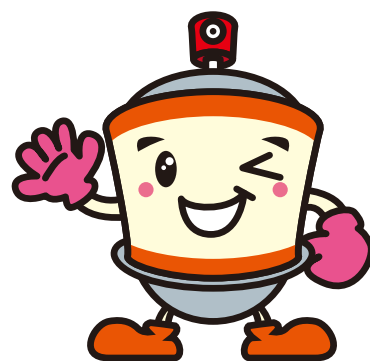
- ◆化学物質(PRTR制度対象物質)の大気・水域排出量の半減・リスク管理徹底と計画的な排出削減
- ◆情報公開およびコミュニケーションの充実・環境・安全レポートの刊行

#### 2 地球温暖化の防止

- ◆工場部門でのエネルギー消費原単位およびCO<sub>2</sub>排出原単位の継続的な改善

#### 3 循環型社会の形成

- ◆廃棄物の発生抑制、再資源化等による廃棄物物理量削減・ゼロエミッションの実現
- ◆エコ・ファーストの約束のうち、三沢工場に取り組んでいるテーマ



## ◆化学物質管理とリスクコミュニケーション

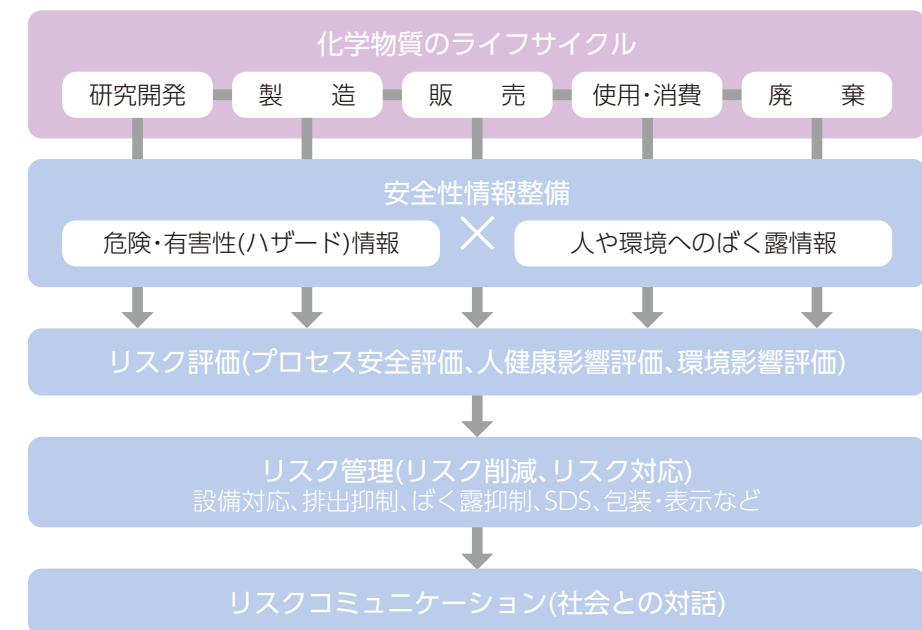
国際的な化学物質管理強化の動きを受け、「エコ・ファーストの約束」の中で、当社が年間1トン以上製造あるいは販売している全製品について、2020年度までに適切なリスク評価を実施することを約束しました。

## 【化学品および製品のリスク評価】

化学品のリスク評価では、①当社の製品に、どのような「危険・有害性(ハザード)」があるか、②製品を製造・使用する場面で、人や環境がどのくらいその製品に触れるのか(ばく露量)の両面から、製品の全ライフサイクルにおける人や環境に対する影響について評価を行います。

製品のリスク評価においては、「製品の化学物質としてのリスク」に加え、「製品の用途・用法に関わるリスク」の2つの側面から評価を行い、リスク低減のための適切な対策を実施しています。

(全ライフサイクルを通じたリスクベースの化学品管理)



## 【安全性情報の提供】

住友化学では当社製品を安全に取り扱っていただくため、製品に含まれる化学物質の安全性に関するデータ調査や社内試験を行い、得られた情報を安全データシート(SDS\*)の形でお客さまに提供しています。さらに、特に取り扱い上の注意が必要な製品については、SDSを簡略化したイエローカードを作成し、輸送途上での緊急事態に対処できるよう、物流関係者に必要な情報を提供しています。

\*SDS/化学製品を安全に取り扱うための情報(性状、取り扱い方法、安全対策など)を記載したシートで、日本工業規格(JIS)や国際標準化機構(ISO)などによって記載内容が定められている。





# 労働安全衛生



全組織、全従業員が「安全をすべてに優先させる」という人間尊重の理念を認識し、自立的に行動する文化を推進しています。

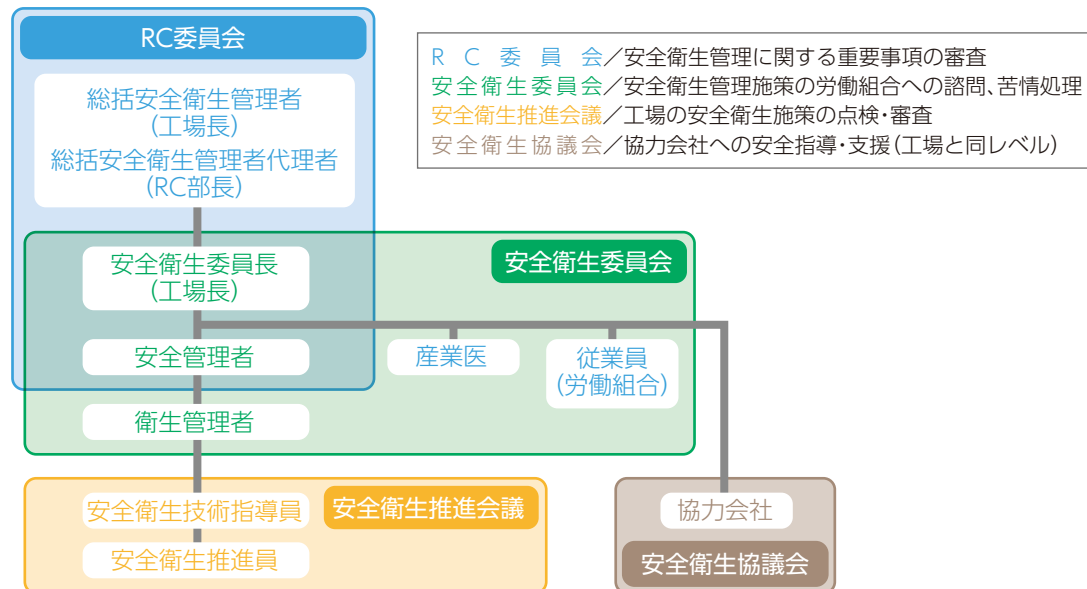
## 【PDCAサイクルを利用した安全衛生活動】

三沢工場では、「安全をすべてに優先させる」という安全の基本理念のもと、労働災害ゼロを目指した取り組みを行っています。

リスクアセスメントを活用した年度方針、目標設定と活動計画(P)、実施・運用(D)、点検・改善(C)、システム見直し(A)を一連のサイクルとする継続的な安全衛生活動を展開しています。

また、事故・災害のない工場作りには、従業員や協力会社社員が心身共に健康で、安心して働ける快適な職場環境作りが重要です。当工場では、安全衛生管理組織の様々な活動を通じて、安全で快適な職場作り日々取り組んでいます。

〈三沢工場 安全衛生管理組織〉



## 【「安全文化の深化について】

三沢工場では、引火・爆発しやすい薬品や高温・高圧の蒸気や高圧電気あるいは塩酸・硫酸等の危険な物質を多量に取り扱っていることから、安全管理上必要なルールとして、様々な規則、基準等を定めています。

当工場では、工事・作業等において、これらの基準等や事前手続きの流れを理解し、ルール遵守を徹底するために、「ファイン3工場工事安全ルールブック\*」および「ファイン3工場工事安全手引書\*」を作成し、工場内で業務に従事するグループ会社や協力会社の皆さんに配布しています。

工場と共に働く皆さんが一丸となって「安全を全てに優先させる」という理念のもと、これらのルールをしっかりと守り、相互に啓発し合うレベルまで「安全文化」を深化させる活動をこれからも推進していきます。

\*ルールブック: 工事・作業等に関連する規則・基準類の要点や守るべきルールのポイントを抽出してまとめたもの。

\*手引書: 現場の第一線で働く協力会社のみなさんに守っていただきたい基本的ルールを分かりやすくまとめたもの。



住友化学は、安全衛生の管理システムでPDCAを回すことによって安全を確保するとともに、「安全をすべてに優先させる」という理念を全従業員が徹底するための「安全文化の深化」に取り組んでいます。

住友化学における安全文化とは、『「安全をすべてに優先させる」という人間尊重の理念をベースとして、すべての組織(職場)、すべての個人(従業員)がその理念の重要性を正しく認識し、それを基点として考え、自立的に行動する文化』です。

全社安全の日  
 の制定、運用

全社で一斉に安全を考える日として、2011年度から、毎月第1月曜日を「全社安全の日」として設定しました。「全社安全の日」には、全事業所において全従業員が安全に関する活動や行事を優先して行うこととし、事業所長やラインの長の出張を伴う会議を原則として計画せず、可能な限りこの日に事業所安全衛生委員会、職場安全会議を開催することとしました。

## 【従業員の健康管理】

従業員が健康面や病気に関していつでも相談が行える様、保健師が常駐しています。日頃の健康管理については、月に1度、保健師が直接各職場を巡回して血圧・体脂肪測定などを行い、一人ひとりに適切なアドバイスをしたり、相談を受け付けています。

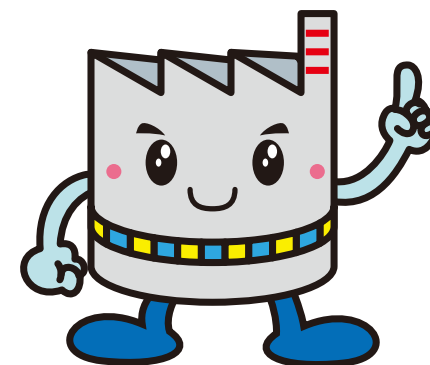
また、産業医が来場する際には、社員本人と直接面談し、メンタル面も併せて自分の健康や病気について相談したり指導を受ける事ができます。

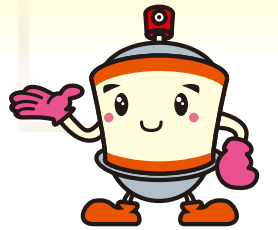


## 【作業環境の把握】

三沢工場では、法令に基づき定期的に作業環境測定を実施し、従業員の職業性疾患予防と快適な作業環境確保に努めています。

作業環境測定は、作業場所が労働者の働く環境として適切かどうかを把握することを目的に行います。作業環境中に有害な因子(有機溶剤など人に対して有害な化学物質)がどの程度存在し、労働者がどの程度さらされているかを科学的に測定し、その結果に基づいて、設備改善や作業方法の改善を行い、労働者の健康障害の防止に努めています。





# 保安防災



従業員と地域社会の安全、安心を最優先として定期的に訓練を実施し、自主的な保安管理体制を構築し、さらなる安全対策の強化を図っていきます。

住友化学は、すべての人の安全を最優先に考えた、万全な保安防災体制の構築を進めています。従業員のプロセス安全確保のための知識・スキル習得を支援するために、e-ラーニング、集合研修(座学、体感研修)など業務役割を踏まえたさまざまな保安防災教育を実施しています。今後も、重大保安事故を発生させないため、Know-Whyの視点でのプロセス安全技術伝承の推進など、「保安力」の強化を目指した取り組みをさらに充実していきます。

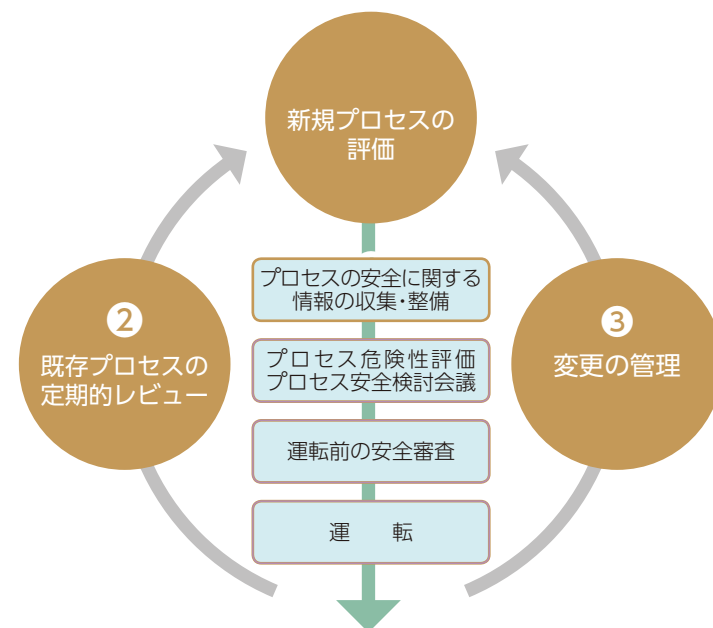
## 【保安防災管理の基本的な考え方】

保安防災管理の最大の使命は、プロセスの安全性と設備の健全性を確保してプラントでの保安事故を未然防止するとともに、自然災害やテロ等からプラントを守ることで、従業員と地域社会の安全・安心を確保することです。そのためにプラントのリスク評価を徹底し、安全対策の継続的強化や自主保安管理体制の充実を図っています。

## 【プロセスの管理】

新規プロセスの研究開発からプラントの設計・建設を経て運転・維持、さらには廃棄に至るまで、製品開発・工業化の各ステージにおける安全性の評価を行い、環境への配慮と無事故・無災害の継続に努めています。

〈プロセスハザードの管理(3つのルート)〉



## 【保安防災体制】

三沢工場では、プラントの事故を未然に防止するとともに、万一事故が発生した場合、化学消防車等の各種設備によって災害を最小限に食い止めるための保安防災体制の充実を図っています。

緊急事態に備え、緊急処置や汚染の拡大防止措置を的確に行えるよう定期的に手順書に基づいた総合防災訓練を実施しています。

各種訓練は、夜間や冬季など様々な想定で行っており、火災を想定した訓練では被災者の救助訓練や工場周辺地域への広報訓練なども行っています。



三沢市消防署との合同防災訓練

## 【自然災害(地震・台風・大雪等)への備え】

三沢工場では、自然災害(地震・台風・大雪など)に対し、被害を最少限に防ぐための措置や、万一被害が発生した場合の緊急時措置などを手順化し、定期的に訓練を行っています。

また実際に地震等が発生した場合には、構内放送で一斉連絡し、それぞれの事態に応じた措置を実施します。

〈設備対応〉

地震	建物の耐震補強、地震計設置、自動放送(震度、対応指示) 設備・備品等の転倒防止対策
強風	高所作業等の中止指示、物品飛散防止対策
停電	非常用発電機、UPS(無瞬断電源供給装置)、自動放送(対応指示)
大雨	調整池(一時的豪雨の雨水貯留施設)、系統ごとの排水路整備
積雪	【設備】耐荷重設計、【配管】断熱保温材、【人】融雪道路



融雪道路



非常用発電機



調整池(桜ヶ池)



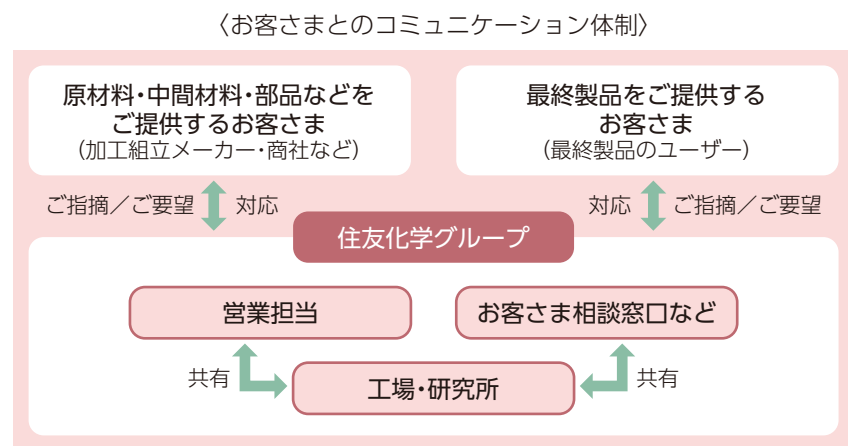
# 品質保証



お客さまからのご要望、苦情等を各部門で共有し、整理・分析して組織的に品質保証体制の強化に努めています。

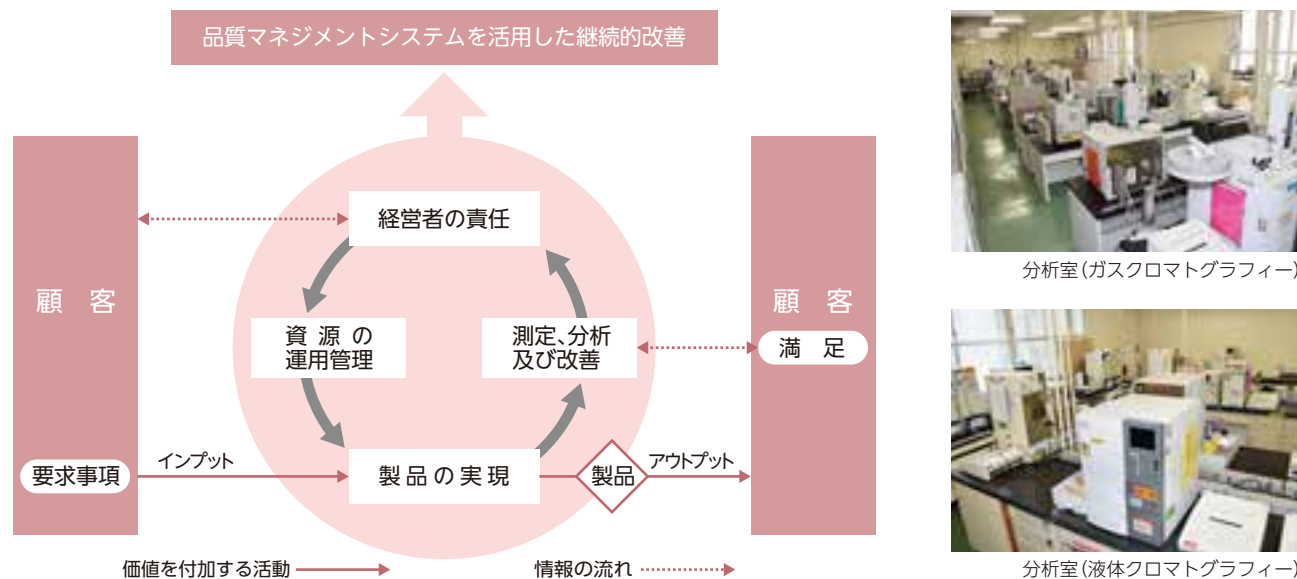
## 【製品のリスク評価】

住友化学では、「安全、環境、品質に関する基本方針」の下、“お客様が満足し、かつ安心して使用できる品質の製品とサービスを提供する”ことに努めています。“開発、製造、物流、使用、廃棄の全ライフサイクル”にわたる製品安全に関する社内の具体的な取り組み事項を定め、各段階で法規制を順守するだけでなく、「製造物責任」の考え方に基づいて多面的なリスク評価を実施し、対策を講じることで安全性の高い製品の開発・製造に努めています。



## 【安定した品質の製品とサービスの提供】

三沢工場では、お客様に安定した品質の製品とサービスの提供を目指し、品質保証体制の強化に努めています。お客様からの当工場製品への品質に関するお問い合わせ、ご要望、苦情等は、品質保証担当が情報整理・分析し、製品ごとに確実な再発防止に向けた取り組みを行っています。また、お客様から得た様々な情報を工場内各部門で共有し、品質マネジメントシステム(ISO9001)の活用により、組織的に品質保証活動を展開しています。



分析室(ガスクロマトグラフィー)



分析室(液体クロマトグラフィー)

# 地域社会とともに

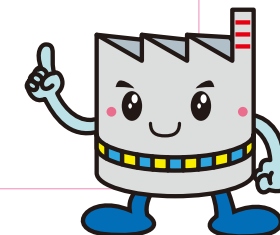
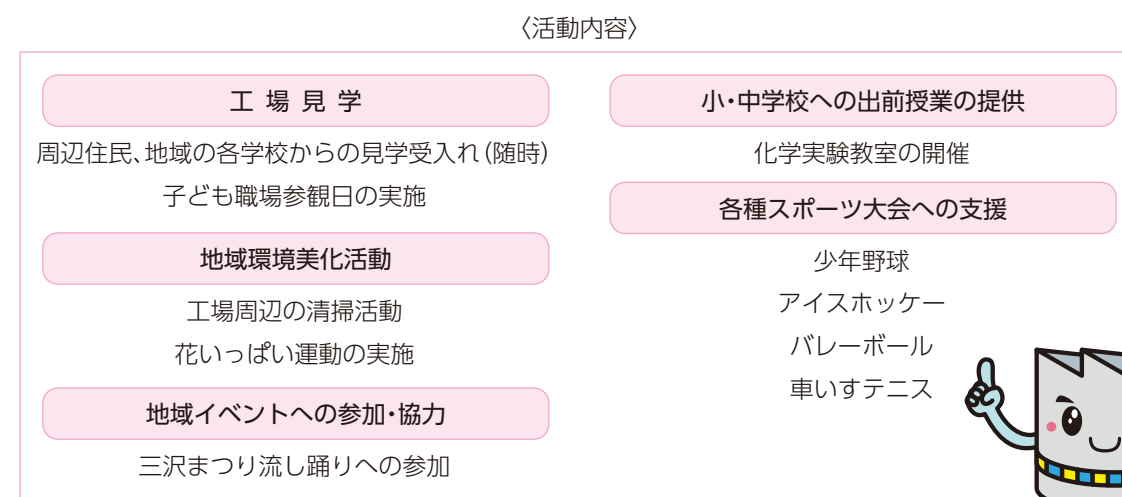


未来を担う子供たちの育成活動参加や、騒音、振動、臭気や土壌・地下水汚染対策等、生活環境維持活動にも努めています。

## 【地域社会への貢献活動】

三沢工場では、日々の情報開示と地域の皆様とのコミュニケーション、未来を担う子供たちの育成を目的として、地域のニーズにあわせた様々な活動に取り組んでいます。

当工場の活動を正しく理解していただくとともに、地域の皆さまとの良好な関係を築きながら、より一層親しまれる工場づくりを目指し努力して参ります。



## 【周辺地域の生活環境保全】

### 騒音・振動・臭気対策

三沢工場は、市民の皆さまの居住区域から離れた場所に立地していますが、工場周辺には農地があり、そこで作業される方々の生活環境保全を目的に、公害防止協定で騒音・振動についての基準を定めています。(但し当工場は規制区域外に該当)

当工場では、日頃から騒音・振動、さらには臭気についても様々な対策を実施するとともに、定期的な測定を行いながら良好な生活環境の維持に努めております。

### 土壌・地下水汚染の防止

#### 【観測井戸での水質調査】

三沢工場では、製造設備周辺に降った雨水は機械油などで汚れている可能性があるため、周囲を舗装し導水管により全量集水して排水処理設備で処理しています。また、構内道路に降った雨水も同様に集水し、水質監視を行いながら放流しています。

このように土壌・地下水汚染対策には細心の注意を払っていますが、排水貯槽の底部など通常での監視が難しい箇所から汚水等が滲み出すなどのトラブルも想定されます。そのため、設備や導水管の定期点検を行い、トラブルを未然に防ぐとともに、万が一のトラブルも早期に検知し迅速な対応を図るため工場内の要所に観測井戸を設置しています。井戸の水質は定期的な水質調査を行い問題がない事を確認しています。

# 国内拠点・アクセス



操業以来、皆さまの豊かな暮らしを支える供給拠点として役割を担っています。

## 〈三沢工場〉

1949年、除虫菊に含まれる殺虫成分の類縁化合物ピレスロイドを工業的に合成する技術を確認、旧西島工場(大阪府)に「ピナミン®」の製造設備を建設しました。その後の需要拡大に対応するため、1978年、青森県三沢市で新工場の操業を開始。以来、三沢工場は、家庭用、防疫用、農業用など、幅広いピレスロイド系殺虫剤を、世界各国に輸出する供給拠点として、重要な役割を担っています。



1977年 三沢工場全景(建設当時)



1998年 三沢工場全景



- 三沢空港からタクシー利用12分
- 三沢駅からタクシー利用20分

